

真田父子犬伏密談図 (上田市立博物館所蔵)

上田城は天正11年(1583)、真田昌幸によって築か れた平城で、上田盆地のほぼ中央に位置しています。 堀と土塁で囲まれ、虎口(出入口)に石垣を使った簡素 な城ですが、第一次、第二次上田合戦で徳川の大軍を 撃退し、天下にその名を轟かせました。数ある城郭の なかで、2度もの実戦経験をもち、輝かしい戦果をあげ た城は、全国でも他に例はありません。

しかし、上田城は関ヶ原の合戦後に破却され、藩主 であった真田信之も松代へ移封となりました。その後、 小諸から入封した仙石氏により城は再興され、近世後 半には松平氏の居城となります。

幕末には本丸に櫓門2基、櫓7基がありましたが、現 在は櫓3基と櫓門1基をみることができます。また、園 内には石垣や土塁が至る所に残されています。

真田氏からはじまり、築城から400有余年。上田城は 今もなお、訪れる人々を魅了しています。松や新緑、紅 葉など、美しい四季の移るいとともに、戦国ロマンあふ れる園内で、歴史探訪をぜひお楽しみください。

歴代上田城主 初代 真田昌幸



七代 松平忠愛



400年前の上田

城を最新映像技術

VRでリアルに再

現。上田城の中を

空中散歩している

櫓内には火縄銃や

真田氏が徳川軍を 二度退けた「上田

合戦 | を紹介するフ

ロジェクションマッ

-般 300円

-般 500円

ピング等を展示。

最終入館時間は16:30です。

橋は冬期(12月~翌3月)

※施設の情報は2021年2月現在のものです。

灰岩を使用している。

かのよう。